

葛野 の鐘



- 🍷 館長からのメッセージ
- 🍷 わたしと図書館
- 🍷 図書館でSDGsを考える
- 🍷 卒業生からのメッセージ/学Booo
- 🍷 わたしのすすめる1冊
- 🍷 わたしの本棚
- 🍷 図書館貸出ランキング

館長からのメッセージ



『コロナ禍の中で図書館の役割を考える』

この春はコロナ禍の中で迎える2度目の新年度となった。新入生の皆さんは、高校2年生の時から、コロナ感染症対策の体制で学校生活を送ってきたことになる。もはや臨時のコロナ対応体制が常態となりつつあるのかもしれない。

一昨年度の2020年度は図書館の来館利用者数が激減した。多くの授業がオンライン化され、学内への立ち入りも厳しく制限したのだから、これは当然の結果である。しかし、昨年度は、利用者への回復が見られ、館内も徐々に活気を取り戻していった。これは、ひとえに図書館スタッフの努力の賜物である。わたしの本棚コーナー、新年を祝う福袋企画、オンラインでの古本広場、SDGsフェアなど、少数精鋭で新たな企画を実現させている姿勢に感謝と敬意を表したい。


ところで、マスコミの報道で、コロナ終息後に生活や経済が回復するという予測をしばしば目にするが、多くの人々が想定する「回復」とは、具体的にどのような状態を思い描いているのだろうか。回復とは、いままでもなく元の状態に戻ることである。だが、はたして、それが良いことなのだろうか。コロナ禍は、大学の日々の業務に大きな影響を与えた。会議のオンライン化、リモートワーク導入、そして授業の大幅なオンライン化等々。何事にも良い面と悪い面があるが、確実に言えることは、コロナ禍によって、大学は新たな段階を迎えつつある、いや、「つつある」のではなく、否応なく迎えているのである。

そうであるならば、図書館の機能も自ずと変わらなければならない。すなわち、今まさに「大学図書館とは何か」を改めて問うことが求められているのだと言えよう。すでに2年余に及ぶこの病禍を図書館にとってのチャンスにするには、教職員、そしてなによりも学生の想像力と創造力を導き出すきっかけを準備することが有効であると思う。上に紹介した図書館スタッフによる新企画の中に、図書館のこれからの発展、充実の種が潜んでいるように思う。



あさひな ひでお
図書館長 朝比奈 英夫

キャリア形成学部 キャリア形成学科 (日本文学)

 寄贈図書リスト 

現・旧教職員ほか(2021年1月～12月受入寄贈者の五十音順・敬称略)

この他にも学外の方から多数の図書を御寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

- | | | | |
|-------------------------------------|---------|-------------------------------------|--------|
| ◎ 京都を学ぶ:文化資源を発掘する 洛西編 | 朝比奈 英夫氏 | ◎ 「学力」の経済学 | 下川 理子氏 |
| ◎ 共生社会への教育学:自律・異文化葛藤・共生 ほか | 阿部 敏行氏 | ◎ コミュニケーション論・多職種連携論(リハベージック) ほか | 瀧澤 透氏 |
| ◎ 協同学習入門:基本の理解と51の工夫 ほか | 乾 明紀氏 | ◎ 眼科専門医と考えた「測るだけ眼トレ」ブック:視力悪化が気になる人へ | 長者 美里氏 |
| ◎ あるがままに自閉症です:東田直樹の見つめる世界 ほか | 岡野 弘美氏 | ◎ 総合調理用語辞典 | 原 正美氏 |
| ◎ インドラネット | 奥 和子氏 | ◎ 結婚しなくていいですか。:すーちゃんの明日 ほか | 針谷 綾子氏 |
| ◎ おやすみおやすみ ほか | 木戸 美幸氏 | ◎ わが母なるロージー(文春文庫:[Jレ-6-5]) ほか | 松本 千晴氏 |
| ◎ 新・高齢者福祉概論:真のパラダイム転換に向けて ほか | 佐々木 勝一氏 | ◎ 家庭が崩壊しない間取り ほか | 宮野 順子氏 |
| ◎ なぜ、人は旅に出るのか:現地力が生み出す観光ビジネスの新しいカタチ | 佐滝 剛弘氏 | ◎ ことばと生命 ほか | 由良 徹氏 |
| ◎ 関係からはじまる:社会構成主義がひらく人間観 | 鮫島 輝美氏 | | |





わたしと図書館

LIBRARY



「図書館の思い出」

私の図書館との最初の出会いは、小学校1年生の時でした。その頃は、今のようには娯楽が発展しておらず、見られるTVチャンネルもNHKくらい。よって、私の唯一の楽しみは絵を描くことと本を読むことでした。小学校に入学した時から図書室にほぼ毎日通い、2～3日に一冊のペースで本を読んでいました。帰宅して借りた本をランドセルから取り出す瞬間のワクワク感は半世紀以上たった今でも鮮明に覚えています。

中学生になると部活や受験勉強で図書館からすっかり遠のいてしまいました。最新の思い出は、オーストラリアの大学に留学していた頃の図書館です。大学の図書館は夜中まで開いていて、夜間でも多くの学生が勉強や調べ物をしていました。キャンパスが広すぎて危険なので、図書館と学生寮をつなぐシャトルバスも夜中まで走っていました。真っ暗な中、わずかにこぼれる図書館の光を背にシャトルバスに乗る毎日。小学校のときのワクワク感とは異なり、単位を落とさないように歯を食いしばって頑張ったのが、留学時代の図書館との思い出です。

今回、「私と図書館」というテーマを与えていただいたおかげで、これまでの人生の中で、図書館と自分の関係が切り離せないものだというのを改めて認識しました。これからの残りの教員人生では、光華の図書館とどのような思い出が作れるか楽しみです。



なかひら

中平 みわ

健康科学部 看護学科(老年看護学)

「情報化社会の中での図書館」

私は、いまでも授業資料などを作成する際に図書館をよく利用しています。情報化社会といわれる昨今インターネットで簡単に多くの情報が得られるにも関わらず、なぜ図書館を利用するのか。インターネットは手軽に多くの情報を入手できる反面、そのなかには誤った情報や情報源が定かでないものも多く含まれています。いまでも新型コロナウイルス感染症に対してインターネットやSNSでは真偽不明の情報で溢れています。そうした情報のなかから自分に必要かつ正しい情報を手にしていくことは、その分野に対して専門的な知識を持たない限り大変困難なことです。

図書館にある本がすべて新しく正しい情報とは言えませんが、図書館にある本は誰が執筆しているか確認することができ、専門書の場合は、その内容について根拠となるデータや文献が示されていることや、複数の著者が内容を確認している場合が多いです。また、その本の近くには同じ分野の本が並んでおり、複数の本からその内容について確認することができます。正しい情報を得るためには、もう少しステップはありますが、図書館で色々な本に目を通し、得られた情報から自分なりに考えていくことが、これからの情報化社会の中で生きていくための第一歩だと思います。

皆さんも図書館に来て、正しい知識を身につけるトレーニングをしてみませんか？



かわしま のぶひさ

河嶋 伸久

健康科学部 健康栄養学科(スポーツ栄養学)



図書館でSDGsを考える

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(SDGs=Sustainable Development Goals)とは 2015 年国連総会で 193 か国すべてが賛同した 2016 年から 2030 年までの世界共通の目標です。

まず、わたしたちができることは SDGs とは何か、世界の現状を理解し、考えることが重要です。

大学は SDGs を深く学ぶことができるリソースにあふれています。

様々な分野の研究者である教員が所属し、図書館では多岐にわたる資料を所蔵しています。

この企画では 17 個の目標の中から図書、雑誌他、様々なメディアの情報を継続的に紹介していきます。

同時に大学で取り組む SDGs の情報も発信していく予定です。

幅広い情報から正しい知識を得て、視野を広め、新しい発想で問題解決する力を身に付けていきましょう。



メインのフェアとして、まず SDGs とは？を知るための入門書を集めました。

一方で、17 の目標それぞれに焦点をあてたフェアも一緒に実施しています！第 1 回は「ジェンダー平等を実現しよう」を取り上げました。

メインフェアに展示していた本のリスト (50 音順)

SDGs : 危機の時代の羅針盤 (岩波新書 : 新赤版 1854)
2 階新書コーナー 新書

SDGs (持続可能な開発目標) (中公新書 : 2604)
2 階新書コーナー 新書

SDGs がよくわかる本 (図解ポケット)
2 階閲覧室 335.15/MaKy

SDGs と日本 : 全国データ : 誰も取り残されないための人間の安全保障指標
2 階閲覧室 360/TaYu

SDGs を考える : 歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会
2 階閲覧室 333.8/SDGS

SDGs 思考 : 2030 年のその先へ 17 の目標を超えて目指す世界
2 階閲覧室 335.15/TaKa

SDGs 白書 2019
2 階閲覧室 333.8 S/SDGS/2019

子ども SDGs : なぜ SDGs が必要なのかがわかる本
2 階閲覧室 333.8 S/KODO

図解 SDGs 入門
2 階閲覧室 333.8/MuMe

ソーシャル・プロジェクトを成功に導く 12 ステップ :
コレクティブな協働なら解決できる !SDGs 時代の複雑な社会問題
2 階閲覧室 360/SOSH

地球全体を幸福にする経済学 : 過密化する世界とグローバル・ゴール
2 階閲覧室 333/SaJe

東大 × SDGs : 先端知からみえてくる未来のカタチ
2 階閲覧室 377.2/TODA

みんな幸せってどんな世界 : 共存学のすすめ
2 階閲覧室 361.04/FuKo

未来を変える目標 SDGs アイデアブック
2 階閲覧室 333.8/MIRA

60 分でわかる !SDGs 超入門
2 階閲覧室 335.15/ROKU

卒業生からのメッセージ

MESSAGE

「心の支えとなった図書館」

私にとって、図書館は大事な居場所です。特に、1年生の頃は新しい環境に緊張していましたが、図書館に行くとても落ち着きました。授業の課題や読書、映画鑑賞、休憩など色々な過ごし方ができます。授業の空き時間にもよく利用しました。静かで空調も快適なので、課題がはかどりました。

コロナで、オンライン授業になるなど、生活が変わり、気持ちが落ち込むことややる気が出ないこともありました。やる気がなかったとき、図書館に行って、ポーッとゆっくり書架の間を歩くなどして過ごしました。時々目に留まる本の背表紙があり、その本をパラパラ見るなどしました。そうやって本の香りに囲まれて過ごすうちに、心が癒されていくことを感じました。その時の気分などで、惹かれる本が異なり、「今はこういうことに興味があるんだな」と今の自分を知ることができました。

1年生、2年生の時は、学生選書ツアーに参加しました。書店に行き、図書館においてほしいと思う本を選ぶ企画です。自分が選んだ本が、他の学生さんにも読んでもらえることが、とても嬉しいです。残念ながら、コロナで昨年度、選書ツアーはありませんでしたが、またいつか再開したら、色々な学生の方に参加してもらいたいです。

図書館は、誰でも気兼ねなく楽しむことができる場所です。そして、学生の意見や要望も大事にしてくれて、置いてほしい本の購入を希望することもできます。卒業しても利用できる制度もあります。居心地が良い空間と雰囲気をつくってくださるスタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

平井 実帆
(2022年3月 心理学科卒業)



学Booo

学Booo 本×図書館サークル「ビブリオフィリア」

「ビブリオフィリア」日誌

図書館や本を自由に楽しんでほしい、自由な読書の形を一緒に考えたいという思いから学Booo 本×図書館サークル「ビブリオフィリア」を実施しました。募集してすぐに本好きなメンバー4名(こども教育学科2年生、社会福祉専攻2年生、言語聴覚専攻1年生、管理栄養士専攻1年生)が参加してくれました。当初の予定は図書館を存分に活用するはずでしたが、コロナ感染拡大防止のため対面が難しく、残念ながら主な活動はzoomで実施しました。

5月 最初の活動はそれぞれがお気に入りの本を紹介しました。読んだことのない本との出会いです。他人にわかるように話をするには文章力、表現力が必要です。本について熱い思いはありますが、緊張もあり、難しかったようです。

7月 図書館での初めての活動は、書庫を見学してもらいました。閲覧室とは違い、古い本が多く並びスペースで、自由に本を手に取り、時間を忘れ楽しんでいました。書庫の本は興味がそれほどないのではと思いましたが…、時間が足りませんでしたね(笑)

10月 後期に入り、4人の学科が違うため時間が合わなくなりました。全員で活動できない寂しい日々が続く、苦肉の策として、各自で本のポップづくりをすることにしました。見る人に興味を持ってもらえるような文章を考えることはたやすくなく、時間がかかりました。

2月 春休みにやっと集まることができました。本のポップのデザイン、展示方法、その他「本の好きなフレーズを掲示してみたらどうか」、得意のスマホアプリを利用するなど、学生目線の企画やヒントが会話のやりとりから生まれました。アナログな私たちにはわからないことばかり！ユニークな発想にワクワクしました。出来あがったポップは2022年度春に展示する予定です。

コロナのため年間を通して活動が充分にできなかったことは残念でしたが、メンバーが続けてくれたことに感謝しています。引き続き、「ビブリオフィリア」はブラッシュアップして新たなメンバーを募る予定です。興味がある人は図書館 大原まで声をかけてください。



わたしのすすめる1冊

MUST READ



『面白くて眠れなくなる数学』

「数学」は、本当はとても面白い学問なのですが、途中で解らなくなって「面白い」から「難しい」に変わってしまうことがあります。世の中には数学嫌い（苦手）な人が多いのではないのでしょうか。私は、その原因は、学校での数学の教え方に問題があると思っています。意味がよくわかっていない公式等を教えられ、ただ公式通りに計算をすればよいというやり方ですね。特に、受験のための数学というのが、若い人達を数学嫌いにさせる原因になっていると思っています。

十数年前に桜井進さんの講演を聞きました。「世界は数学でできている。音楽や芸術までもが数学を基本としている…」というお話で、非常に感動したのを覚えています。その時、これらの本に出会いました。美しい記号のはなし／数学者のロマンティックな名言／おならの匂いは半分でもやっぱり臭い？／因数分解でセキュリティ／クレジットカードの会員番号のひみつ／おつりを簡単に計算するテクニック／マンホールはなぜ丸い？／iPod は数学が奏でる…など。

そもそも、数学は私達の生活の中にしっかりと浸透していて、とても役に立っているのです。私は、特に比率の話が興味深かったです。誰が見ても美しいと感じる万国共通の美のバランスの話なのですが、それが「ミロのヴィーナス」や「パルテノン神殿」、エジプトのピラミッドにも使われている。身近なところでは名刺などにもこの比率が使われている。さらに、「白銀比」といって、日本の建築物などに代表される安定比（1対 $\sqrt{2}$ ）の話、その比率は、A判とかB判とかのコピー用紙などにも使われています。

この本は、文系の人でも楽しめる、わくわく感に満ち、ドキドキしながら読み進められると思います。

『こんとあき』

みなさんは近頃、ドキドキして緊張したり、わくわくして胸が高鳴ったり、「へえ〜！」と新鮮な驚きを感じたりと、そんな経験はありますか。「子どもの内面には広大な宇宙が広がっている」（河合隼雄, 1987; 「子どもの宇宙」）の言葉のとおり、子どもの心には、圧倒されるようなエネルギーが詰まっています、とんでもなく楽しい世界が広がっています。

この本は、「こん&あき」のペアが、文字通りわくわくどきどきする旅を中心に描かれた絵本です。ほほえましくて心温まる場面に、アクシデントで「大丈夫?!」と思わず心配になる場面もあり、更には、こんの振る舞いに思わず笑ってしまうシーンもあって、短いながらもたくさんの感情体験ができて、心満たされるでしょう。

おすすめのポイントは、まず「どっちが引っ張ってるん？」という点。こんがお兄さん役のようですが…。そして、2つ目は、こんの口癖の「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」。このセリフには、こんの明るいマインド（気質とも言えます）が表れていると同時に、あきへのやさしさや慈しみが詰まっています。3つ目は、砂丘。鳥取砂丘だと思って、鳥取に住んでいた私としては親近感と壮大な自然のエネルギーを感じながら読むわけですが、砂丘での出来事が2人のキャラクターや成長をくっきりと浮かび上がらせる、言わば物語の佳境と感じられます。また、あきの表情もとても繊細に描かれていて、注目ポイントです。

子どもの心のエネルギー（想像力など）と可能性については、様々な絵本で描かれますが、この本では、最初から最後まで、一つのファンタジーを違和感なく、現実にとっくりとフィットさせる形で描いています。

心の深みを知り、御自身の心を温めることができる1冊です。

たにもと たくろう
谷本 拓郎

健康科学部 心理学科(犯罪心理学、マインドフルネス)

「こんとあき」
林 明子 作
(福音館書店)
1階絵本コーナー



「面白くて眠れなくなる数学」
桜井 進 著 (PHP研究所)
3階閲覧室

「感動する! 数学」
桜井 進 著 (PHP研究所)
3階閲覧室

こちらもお
すすめ

かわはら としこ
河原 聡子

こども教育学部 こども教育学科
(教科教育学、初等中等教育学 / 算数教育)

NEW

わたしの本棚

MY BOOKS



みなさんにとって身近な先生や職員の方々に人生で感銘を受けた本を選んでもらい、オリジナルの本棚を作っていただく企画です。先生方には動画でメッセージも寄せていただきましたので、そちらもお楽しみ下さい。

新たな本との出会いがあなたの新しい扉を開くかもしれませんよ。

現在展示中

第4回 看護学科 **鮫島 輝美** 先生の本棚

鮫島先生の動画
メッセージ



塩狩峠 改訂
三浦 綾子 著

新潮文庫：み-8-1
2階文庫コーナー

ケアの社会学
三井 さよ 著

498.14/MiSa
3階閲覧室

「生きづらさ」に寄り添う(支援)
—医療・看護・介護におけるグループ・ダイナミックス的アプローチ—
鮫島 輝美 著

369/SaTe
2階閲覧室



他

「人生において大きな影響を受けた本」を紹介していただきました。子どもの時、学生時代、研究者として、母として、それぞれのライフステージで出会った本や、ご自身の著作、翻訳された本が並んでいます。生きていく上で何か問題にぶつかった時、他の人の意見が必要な時、先生にとって、本は手軽で、ヒントを与えてくれる存在なのだそうです。

＊ 過去の展示 ＊

第1回 就職支援センター
はりがい あやこ
針谷 綾子 さんの本棚

働いていた
フランスのぶどう畑



本が大好きな方だけあって、すぐに 19 冊もの本を選んで下さいました。旅エッセイや絵本など気軽に読める、けれど心に響くカラフルな本たち。小林聡美著『アロハ魂』、岡本太郎著『壁を破る言葉』や絵本『大きな木』など。長い海外生活の大変な時を支えたのも「本」だったそうです。



針谷さんの動画
メッセージ

第2回 キャリア形成学科
あさひ な ひでお
朝比奈 英夫 先生の本棚

敦煌観光中に
ラクダに乗る朝比奈先生



井上靖ファンの先生からは、『天平の甕』『敦煌』やそこに登場する「敦煌文書」を紹介していただきました。その他、昔話をユニークな角度から紹介する「いまは昔、むかしは今」シリーズの魅力について詳しく解説をしていただきました。



朝比奈先生の動画
メッセージ

第3回 こども教育学科
きど みゆき
木戸 美幸 先生の本棚

アメリカ留学時代、
同級生とともに撮った写真



ことばと人のつながりや母語以外の言語を習得する魅力を感じる本の数々は、第二言語習得論を担当している先生ならではの文化を知ることができる絵本『Bedtime for Frances』と『おやすみなさいフランス』など、原書と日本語訳を並べて紹介しました。



木戸先生の動画
メッセージ

図書館貸出ランキング

RANKING

みんなはどんな本を読んでいたのか？昨年度のランキングを発表します！

(参考書・過去問題集や教材を除く)

RANKING		
1	私は私のままで生きることにした キム・スヒョン 著 / 吉川 南 訳	159/KiSu 1階学生選書コーナー
2	クローズアップ犯罪 (現代社会と応用心理学: 7) 谷口 泰富, 藤田 主一, 桐生 正幸 編	140.8/GEND/7 2階閲覧室
2	52 ヘルツのクジラたち 町田 そのこ 著	913.6/MaSo 3階閲覧室
4	流浪の月 瓜良 ゆう 著	913.6/NaYu 3階閲覧室
4	medium (メディウム): 霊媒探偵城塚翡翠 相沢 沙呼 著	913.6/Asa 3階閲覧室
6	The very hungry caterpillar by Eric Carle	726.5/CAR 1階絵本コーナー
6	はらぺこあおむし 改訂版 エリック=カール さく / もり ひさし やく	726.5/CaE/(t) 1階絵本コーナー
6	女の子はどう生きるか: 教えて、上野先生! (岩波ジュニア新書: 929) 上野 千鶴子 著	新書 2階新書コーナー
6	子どもの「生きる力」を育てる食育ガイド (21世紀型授業づくり: 116) 平野 直美, 西川 貴子, 長瀬 莊一 著	498.5/KODO 3階閲覧室



「私は私のままで生きることにした」
キム・スヒョン 著 / 吉川南 訳
ワニブックス刊
159/KiSu 1階学生選書コーナー

気になる第1位はキム・スヒョンさんの「私は私のままで生きることにした」でした！この本は「1階学生選書コーナー」にあります。ここには学生さんたちが実際に書店へ出かけて選んでくれた本が並んでいます。みなさんの興味を惹く本に出会えるかもしれませんね。同じ請求記号159で始まる本は、みなさんの生き方の道しるべになるエッセイなどがたくさんあります。2階閲覧室にも並んでいますので、ぜひ手に取ってみてください。



図書館 1階学生選書コーナー



「葛野の鐘」は図書館の屋上にある鐘楼で、葛野の地に朝夕鳴り響いています。そこから、創刊時の図書館長が命名されました。

葛野の鐘

編集後記

図書館報「葛野の鐘」第29号をお届けします。ご寄稿いただいた皆様には心より御礼申し上げます。巻頭の館長の言葉にもあるように、このコロナ禍を図書館変革のチャンスと捉え、「大学図書館とは何か」私たち図書館スタッフ一人一人が改めて見つめ直すことによって、今後の図書館の歩んでいく方向性が決まっていくのではないかと。そう考えると、図書館も非常に重要な過渡期を迎えているような気がします。もっとこうしてほしい等々、皆さんの声をぜひお聞かせください。ともに、図書館を進化させていきましょう！今回の表紙デザインと写真撮影は、ライフデザイン学科2年生の室生美紅さんと村田歩美さんが担当してくれました。写真のモデルは、同じくライフデザイン学科2年生のTさんとMさんです。すてきな表紙をありがとうございました！！



図書館ホームページ & facebookはこちら

For Future Well-Being
健やかな明日が華ひらく

葛野の鐘 第29号 2022年4月発行

京都光華女子大学図書館

〒京都府右京区西京極葛野町38

☎ (075)-325-5399

✉ lib@mail.koka.ac.jp